

こだわりの素材で詠えませんか？

長羽織とコート

羽織やコートをサラリとまとうことで、ときに優雅に
ときにシャープな表情を添えるなど、装いの印象を
がらりと変える面白みがあります。

きもの姿を今様にセンスアップする、羽織とコート
を主役としたコーディネートをご紹介します。

大柄の小紋で詠える長羽織には、無地の紬や御
召で。一方、スッキリした上品な羽織なら、ドレッ
シーな小紋や付下げとの相性が抜群です。

コート選びには、着用季節を考慮して色柄はもち
ろん、素材感と風合いがポイントになります。



牡丹唐草文様の御召生地 of 長羽織



パステルカラー小紋で作った長コート

防水スリーシーズン チリ除けコート

秋 口からスリーシーズン着用可能な
チリ除けコートを詠える方が最近
増えています。

薄物の経緯や段畳しの生地で、動きや
すい膝下丈に仕立てるのがおススメ。
防水加工をすると晴雨兼用の携帯用
コートとして重宝します。



防水チリ除けコート地 ￥110,000～



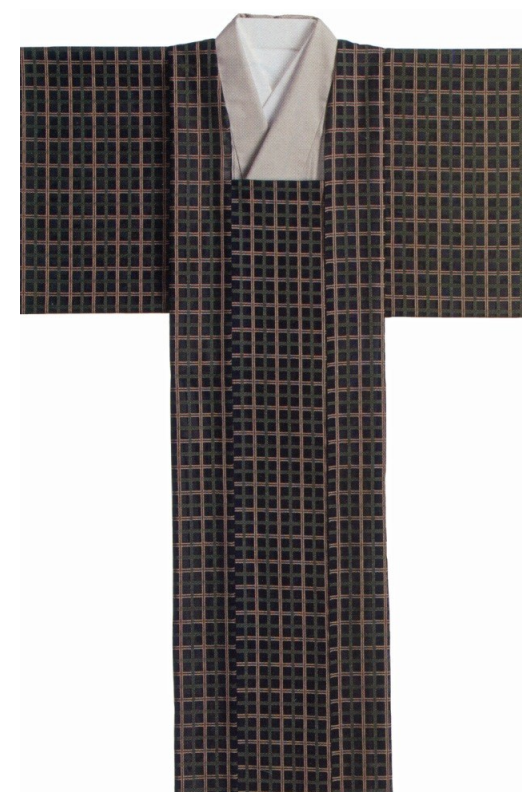
上品な京友禅の小紋で詠えた
長羽織は、付下げや色無地な
ど準礼装にも使えます。



活動的に過ごしたい日には、着
るほどに馴染むといわれる無地
結城紬の羽織が重宝します。



爽やかなブルーの宝尽くしの飛び柄小紋
で仕立てた優雅なコートは、フォー
マルなシーンにも活躍するアイテム
です。



名物裂吉野間道の先染め着尺を用いた
単衣コートは、軽やかさを感じるの
で長めの丈で仕立てるのがおすす
めです。

万全の寒さ対策 カシミア・アンゴラコート

冬 の冷え込みが最も厳しくなる
のが、年末から2月の節分に
かけての時期です。

そんな真冬の防寒対策には、**カシ
ミヤ**と**アンゴラ**素材の和装コートが
活躍します。へちま衿のデザインで
着丈は膝が隠れる100cm。
流行に左右されることもなく、礼
装にもカジュアルにも着廻すこと
ができる便利な冬のアイテムです。



4色展開しています ※既製品

ご家庭で簡単に洗える 名物裂長襦袢



笹蔓文様長襦袢地 ▲ 淡藤色 ▲ 水浅葱

東レシルックを使用した最高級合成繊維素材の長襦袢です。ご家庭で簡単に洗うことができ、短時間で乾くため、二日以上続けて着用する時などに重宝します。名物裂の笹蔓文様が浮き上がる生地は、絹のようなしっとりした肌触りが特長です。また、背中に衣紋抜きを付けて仕立てるため着崩れの心配もありません。

①薄桜、②水浅葱、③クリーム、④若草、⑤淡藤の5種類からお好みの色で、あなたの寸法にお誂え致します。



笹蔓(ささづる)文様

笹の葉、蔓、六弁小花(梅)、松毬(まつかさ)を唐草のように繋いで図案化した吉祥文様。

茶人や大名に珍重された名物裂の一種で、きものや帯、茶道具の仕覆として広く用いられています。

お誂え仕立上げ(袖無双)価格 ￥52,800

★洗い方 洗濯ネットに入れ、手洗いモードを選択してください。脱水は15秒程度、水または30℃以下のぬるま湯を使い、脱水後は素早く風通しのよい日陰で干します。

オリジナル草履 カレンブロッソ受注会開催中

カレンブロッソは、大阪の老舗草履メーカー菱屋のプライベートブランドで、草履を現代に合わせて履きやすく改良したカフェぞうりで知られています。当店は14年前に県内唯一



牛革エナメル・フォーマルタイプ



牛革型押しタイプの見本15色

フォーマルからカジュアルまで用途に応じて、牛革エナメル・牛革型押し・PVCと素材の異なる3種類の草履台とお好みの花緒との組合わせで、只今、ご注文を受け付けています。



オールマイティーなPVCタイプ



京都の老舗・衿秀の花緒(刺繍・組紐・帯地・友禅染)との組合わせ

今回ご紹介する草履のソールには、耐久性に優れ登山靴にも用いられている**ビブラムソール**を採用しました。軽くて長時間履き続けても疲れにくいこの草履は、特に濡れた路面や参道の砂利道を歩く時に効力を発揮します。

ふるまごニュース 初めての富士登山



7:01 富士宮コース登山口出発

高山病回避のため各小屋で休憩を取りながら登って、6時間半で富士宮口頂上に到着。荷物を山小屋に預けて最高峰・剣ヶ峰に向かいしましたが、あいにく山頂はガスで視界不良でした。

初の富士登山は山麓の御殿場で前泊して、最短コースの**富士宮口五合目**からスタート。出発時には青空が広がっていましたが、標高を上げるにつれて雲に包まれてきました。



14:22 最高地点・剣ヶ峰(3776m)

混雑回避のため、山頂でのご来光にこだわらず初日にピークを踏んで、翌日一気に下山する計画です。宿泊は標高3740mで最高所の頂上富士館。山開きの1週間後で館内は満室でした。



晩ご飯のカレーと缶ビール(1500円)

就寝スペースが狭く息苦しいため、高山病の症状が出て眠れぬ夜となりました。翌朝5時から雨中の下山。標高が下がるに従い体力が回復し、約3時間で無事登山口に下山できました。



頂上富士館の就寝スペース

みなさまのご愛顧のおかげで90年

きもの・帯

ふるまご

〒514-0008 津市上浜町2丁目62

☎ (059) 228-3996

携帯 (090) 1282-4146

ふるまごホームページ <http://www.ztv.ne.jp/web/furumago/>